

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	銚子連絡道路 一般国道126号 <small>さんぶとうそうどうろ</small> 山武東総道路二期	事業区分	一般国道	事業主体	千葉県		
起終点	自：千葉県山武郡横芝光町芝崎 至：千葉県匝瑳市横須賀	延長	5.0 km				
事業概要 銚子連絡道路は、山武市松尾町から銚子市に至る延長約30kmの地域高規格道路である。 「山武東総道路二期」は、銚子連絡道路の一部を構成する延長約5kmの2車線道路である。							
H16年度事業化	H19年度都市計画決定	H19年度用地着手	工事未着手				
全体事業費	約44億円	事業進捗率	14%	供用済延長	0 km		
計画交通量	8,900台/日						
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.8	総費用 (残事業)/(事業全体)	34/39億円	総便益 (残事業)/(事業全体)	70/70億円	基準年 平成23年
	(残事業)	2.1	事業費：31/36億円 維持管理費：3/3億円	走行時間短縮便益：45/45億円 走行経費減少便益：12/12億円 交通事故減少便益：13/13億円			
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.6~2.0(交通量±10%) 【残事業】交通量：B/C=1.9~2.3(交通量±10%) 事業費：B/C=1.7~1.9(事業費±10%) 事業費：B/C=1.9~2.3(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.6~1.9(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.9~2.2(事業期間±20%)							
事業の効果等 ・多くの観光地を有する山武・東総地域における観光入込客数の増加や周遊観光の促進が見込まれる。 ・千葉県全体の約7割の生産量を担う銚子・九十九里地域から首都圏市場へ鮮度の良い魚が安定的に供給可能となる。 ・朝夕や休日に多く発生する現国道126号の渋滞緩和とともに周辺地域への環境負荷が軽減される。 ・安全で安心できるくらしの確保（3次医療施設（国保旭中央病院）へのアクセス向上）が見込まれる。 ・地域の防災機能の強化（緊急輸送道路の強化）が見込まれる。							
関係する地方公共団体等の意見 山武東総道路二期がその一部を構成する銚子連絡道路は山武・東総地域の魅力ある発展への寄与が期待され、旭市をはじめとする5市4町の首長及び議会議長で構成される「山武・東総地域 幹線道路網整備促進期成同盟会」より早期整備の要望（平成24年2月8日）を受けている。							
事業評価監視委員会の意見 事業の継続を承認する。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成18年3月に銚子連絡道路の一期区間となる松尾横芝IC～横芝光IC間約6.1kmが開通。							
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成16年度に事業化され、用地進捗率20%、事業進捗率14%となっている。							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地の取得は20%完了。引き続き全線2車線完成に向けた事業促進を図る。							
施設の構造や工法の変更等 道路規格を「自動車専用道路」から「一般道路」に見直し、道路幅員を縮小するなどのコスト縮減を図った。							

